社の私達に対する待遇交渉時に於ける會社幹部の圧迫的態度こそ責任問題の中心にあらなければならません。私達の今度の事件に対して採った態度は一切會社の不当なる擦取的暴威に對抗した当然なる所為であると確信します。然かも於ては今日の第一回の交渉の回答を翌日にも為しうるにも不拘十五日迄延ばしたことしたり今日に會社の回答通り承認して解決する旨を工場長に通しようとしたのにとれも聴かず會社の決定したる事で今更仕方がないと称して職場閉鎖を宣告するなど最初より此の事をきへかけに従業員に対してかねての宿願なる首切りの罪望を遂げしようと計画した事は厚然たるものであります。さもあらば其の後の調整二側の再三の交渉に於て平和的解決の希ふ為めに陳謝の意志を表示し誠意を表示したにも拘す私暴にも不当なるり為ありたる為め」と廃棄した竹島、野口、山田、[illegible]、後藤、武田、中田、府上、梅田、頗大、の十名に首切の宣告を與へました。[illegible]も[illegible]解決の一日も速かふり人事を命ってゐる（會社の出した印刷物参照）會社の最上の方法が首切りしかもかゝる多数の首切りであらうとは實に驚くべきことではありませんか？私達は斯いてこの不当を許しません最後まで會社が自らの非を反省するまで石を噛んでも會社の暴虐に抗争する覚悟を固めましたと同時にこの共和の解雇はこの問題をキッカケに會社がいゝ口實をつくったのみで實際は聚理のための不安である首切りが近々今ずに大趨風の様に従業員を襲ふでせう私達の此の今社との闘いは全般的な解雇反對の闘争の前哨戦であると確信してあらゆる力を挙げて抗争するの悲壮な決心をしてあります

（全般的な大解雇の迫実であることを知りました。私達従業員の多年）

今日の調整工の運命はあす全従業員の上にふりかゝる運命だ！

解雇絶体反対!! 解雇の不安を一掃せよ！

六月二十二日

調整従業員団

日本先些工業株式會社従業員諸君